

2021

たじまケーブルテレビビジョンだより

2021年
3月31日号
NO1改訂版

Tokyo2020オリンピック聖火リレー 3日目は南会津町からスタート

東京2020オリンピック聖火リレーは3月25日からスタートしました。新型コロナウイルス感染症の影響で去年から延期されていた聖火リレーでしたが、漸く実施されました。

聖火は1日目の3月25日は栢葉町・廣野町のJビレッジでスタート式を行い出発。ランナーが浜通り地方を走りました。2日目の3月26日は相馬市からスタートし、福島市などを經由し会津若松市まで到着。3日目の3月27日は南会津町をスタートし郡山市まで聖火が運ばれました。

南会津町ではびわの影運動公園内健康交流センターで出発式が行われました。田島中学校吹奏楽部はウェルカムプログラムで演奏し、聖火リレーを盛り上げました。南会津町のスタートを務めたのは南会津町永田出身の渡部陽稀(はるき)さん21歳。ランタンから聖火がトーチに移されると、堂々と聖火をかかげました。陽稀さんは「南会津町の最初のランナーとして任されて、誇らしく光栄に思います、堂々とした走り第2走者に聖火をつなぎたい」と挨拶しました。一緒に走ったのは、南会津町・只見町・桧枝岐村から選ばれた11人の小中学生。スタートからプール前まで笑顔で走りました。南会津町ではびわの影運動公園から国道121号本町地内消防団屯所までの2.2kmを12人の選手が聖火をつなぎました。応援に駆けつけた保護者や町民らは笑顔と拍手で聖火リレーを盛り上げました。

第1走者渡部さんの近所の女性は「良かった。記念になった」、吹奏楽を演奏した中学生は「貴重な体験、選手に力強く元気に走ってもらえるよう楽しんで演奏した」と感想を述べました。



出発する聖火 第1走者 渡部陽稀さん



健康交流センター外



第2走者へ聖火が繋がれた

びわのかげプール前



田島中学校吹奏楽部



ウェルカムプログラムで演奏



聖火受け渡し



サポートランナー



上町 旅館前
応援の人形を飾り、町民の歌を流しました。



上町 屋台庫前

聖火をつなぐポイントでは、田島祇園祭の「しゃんぎり」演奏が行われた。



ドイツからのマスコミも来ていました

2人の女性(山本さん、星さん)が花嫁姿で、アテンドとして登壇者のお世話をしました。星さんは「大勢の人が集まってくれて晴れ晴れとした気持ちで参加できた、誇りに思います」、山本さんは「3日目で盛り上がりきたことが実感できた。貴重な経験をさせていただいた」と話してくれました。



聖火リレーのトーチは、日本人に最もなじみの深い桜をモチーフとしています。つなぎ目のないひとつなぎのトーチで、東日本大震災の復興住宅のアルミ建築廃材30%を再利用しています。重量は1.2kg 全長710mmです。

たじまCATVでは3月27日臨時放送で聖火リレーの様子を伝えました

チャンネル一覧

- 1 NHK総合
- 2 NHK教育
- 4 福島中央
- 5 福島放送
- 6 テレビユー福島
- 8 福島テレビ

11 水曜日午後7時より
コミュニティチャンネル
11ch受信設定→UHF帯域
→再スキャン。ご自分で設定できない方は、お電話頂ければ、設定に伺います。

アナログCH

- 2 チャンネルネコ
- 4 スーパーチャンネル
- 6 ガオラ
- 10 コミュニティチャンネル
- 10 朝日ニュースター
- 12 ムービープラス